

感染管理認定看護師による感染症対策。 患者、医療従事者、地域の健康を守るために。

現在、岡山旭東病院では、感染管理認定看護師が中心となり、院内外での感染症対策が継続的かつ体系的に行なわれている。中心メンバーのひとり、感染管理認定看護師の菅田節子氏はその取り組みをこう話す。「新型コロナウイルス感染症はピークを越えたとはいえ、再流行や変異株の出現が報告されており、今も決して油断はできません。加えてインフルエンザやノロウイルス、薬剤耐性菌など、季節を問わず、年間を通じてリスクとなる感染症は数多く存在しています。これらの感染症は、患者さんだけでなく、医療従事者や地域全体の健康にも影響を及ぼすため、感染対策は病院を運営するうえで重要な課題のひとつといえます」。

感染管理認定看護師は、院内における感染対策の専門職として活動している。具体的には、手指衛生や個人防護具の使用、病室環境の清掃や換気、抗菌薬の適正使用の推進など、多岐にわたる対策を企画・実践・評価している。さらには、医師や看護師、事務職員を含む全スタッフに対して教育・研修を行ない、感染防止の意識を高める役割も担っている。「日常的に、感染症のサーベイランス（発生动向調査）を行ない、異常な発生を早期に察知する体制を整えています。もしアウトブレイク（集団発生）が疑われれば、原因調査と封じ込め策を速やかに立案し、病棟や部署を超えて対応に当たることで、感染拡大のリスクを最小限に抑え

るよう努めています」と話す感染管理認定看護師の高畠聡氏。

ちなみに菅田氏が感染管理認定看護師の資格を取得したのは二〇〇七年。一九九〇年代に猛威を振るったMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）保菌者に対する処置に疑問を感じ、自ら専門的に学んで対応したいと思ったのがきっかけだったとのこと。いっぽう二〇二一年に取得した高畠氏は手術室に勤務、看護部の感染スタッフチームの委員長を務めているが、コロナを機にもっと知識を高めたいと取得を決意したそうだ。

「私たちは縁の下の力持ち。本当なら目立つことがない方がいいんです。感染対策は日々地道な作業の積み重ねですが、大切なのは当たり前のことを当たり前のよう続けること。たかが『手洗い』ですが、それは命を守るための基本中の基本なんです」とふたりは口を揃える。

現在、クリニックや医院を交えて定期的にカンファレンスを行なうなど地域に対する啓蒙活動も続けている同院。ふたりの感染管理認定看護師を中心としたきめ細やかな感染症対策が、地域の確かな医療を守っている。

感染管理認定看護師
高畠 聡

感染管理認定看護師
菅田節子

お問合せ 岡山旭東病院
086・276・3231

NEWS

訪問看護リハビリステーション たんぽぽ

退院後に、こんなお悩みはありませんか？

介護への不安

独居や老々介護への不安

体調や服薬管理が不安

リハビリが必要

自宅の環境調整が必要

嚥下障害があり、食べるサポートが必要

当施設は岡山旭東病院のなかにあり、神経難病や脳卒中、整形、肺炎など多岐にわたる疾患の対応可能なスタッフが在籍しています。看護師とリハビリスタッフが協働して、みなさんのケアを行ないます。お気軽にご連絡ください。

退院直後の短期訪問も行なっています。



私たちが
お手伝いさせて
いただきます



公益財団法人 操風会
訪問看護リハビリステーション

たんぽぽ

岡山市中区倉田567-1
(岡山旭東病院内)

☎086-276-6051

月～土曜 8:30～17:30

☎日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)



No.138

2025
11-12月号

850円
(本体773円)

おとな、暮らし、ときどきプレミアム

オセラ

北の蕎麦

南のうどん

旨い麺を求めてー
奥出雲・岡山・讃岐へ

お気に入りの
暮らし

まち・みち案内
岡山県 井原市
大人のためのご馳走。
とっておきを探しに。
Doctor's Eye